



全国環境整備事業協同組合連合会（玉川福和会長）は5月28日、東京・一ツ橋の如水会館で第43回通常総会を開催し、写真、各支部の平成27年度活動計画・予算案等を審議、承認した。このうち浄化槽支部では、浄化槽の適正な維持管理体制を確保する認証制度「水再生システム」の取得推進や、浄化槽管理者の負担軽減に向けた変動可能な料金体系の検討を行うことなどを盛り込んだ。また任期満了に伴う役員の改選を行い、玉川福和会長の再任を決めたほか、丹野秀樹常任理事（山形）が新たに副会長に就任した。

総会は午後3時、オブザーバーを含め132名の出席を得て開かれた。冒頭で玉川会長は「日本が抱える一番の問題は、人類が経験したことのないスピードで進む人口減少。このような中で我々環境連の組織も、どこを目指して進むか本日の総会で確認しなければならない。私が会長になってから5つの部会（当初）を設置し、何か問題・課題が提起されれば各支部が現地に赴き全力で解決に導く。今後ともその基本方針で進んでいきたい」と挨拶した。

続いて総会審議に移り、第1号議案「平成26年度活動報告、収支決算ならびに余剰金処分案承認」、第2号議案「27年度活動方針、活動計画ならびに収支予算の決定」、第3号議案「27年度借入金最高限度額決定」、第4号議案「取引金融機関決定」、第5号議案「任期満了に伴う理事・役員（監事含む）の改選」について審議し、それぞれを原案通り承認した。

このうち第2号議案・各部会の27年度活動計画では、適正処理推進部会は法令を遵守した適正業務の推進、区域割り・新規許可問題等解決のための現地支援、合理化問題解決のための支援、勉強会の開催を行うこととした。

浄化槽支部は水再生システム取得の推進、送風機停止警報器常設の省令化、高齢者独居世帯における人頭制や使用水量制など変動可能な料金体系案の作成、環境省との協議、避難場所の浄化槽設置の提案を行う。

下水道支部は下水道等維持管理業務の受託に向けた取り組み、下水道や農業集落排水、し尿処理施設ごとの法体系や業務受託に向けた基準整理、今後の

全国環整連

第43回総会で玉川福和会長を再任

水再生システム推進など事業計画承認

予算の決定、第3号議案「27年度借入金最高限度額決定」、第4号議案「取引金融機関決定」、第5号議案「任期満了に伴う理事・役員（監事含む）の改選」について審議し、それぞれを原案通り承認した。

このほか青年部から、各支部活動への参加・連携、各県青年部の連携強化、全国環整連の歩みを振り返る冊子の作成に取り組みすることについて報告があった。

また第5号議案では理事24名、内規理事15名、監事3名を選出し、その後開いた臨時理事会で玉川福和会長の再任を決めた。副会長には黒瀬栄治氏（広島）、丹野秀樹氏（山形）の2名が就いた。

この後は午後6時から懇親会が開かれ、業界、関係省から多くの来賓出席があり、政界からも自民党の上野賢一郎国交事務官、公明党の斉藤鉄夫幹事長代行や佐藤秀光農水政務官、民主党の前田武志参議院議員など多数の与野党議員が出席した。

事業部会は集排パイオ泥の活用、バイオマス先進事例の調査・分析といった技術調査事業、ケーススタディによる視察研修会やJARUS受託事業を通じた研修会の開催、パイオ泥施設の推進と維持管理のマニュアル化に取り組む。

参議院

環境省懇談会で早期結論求める

浄化槽保守点検回数めぐり質問



6月16日の参議院環境委員会で民主党の小見山幸治参議院議員（写真）は、浄化槽の保守点検回数の見直しについて、環境省が開く「今後の浄化槽の在り方に関する懇談会」で早期に結論を出すように求めた（関連記事5面）。

環境省からは「懇談会ではいいねい議論を行いたい。ただできるだけ早期に開催したいとも思っている」と回答があり、小見山議員は「昨日は7月中に開

広報

環整連

題字は斎藤邦吉先生書

発行所

昭和48年3月14日
厚生省環第171号認可

全国環境整備事業
協同組合連合会

〒103-0027 東京都
中央区日本橋2-9-1
竹一ビル4階
TEL (03) 3272-9939
FAX (03) 3272-9938

環境整備事業関係広報紙

【6月号】

本紙は一般廃棄物・浄化槽保守点検清掃・産業廃棄物等の取扱業者による全国団体の広報誌です。
会員・関係企業・官公庁・地方公共団体に頒布しております。

目次

- 1面……………第43回総会で玉川会長を再任
- 2～3面……………総会後懇親会に与野党から来賓
- 4面……………浄中連新会長に玉川福和氏
- 5面……………参議院で保守点検回数質問
- 6面……………低コスト整備検討求める

金沢から 全国、海外に…

誠意と信頼の ネットワーク



■取扱商品

エアーポンプブロー
水中ポンプ・陸上ポン
給水ポンプ・薬注ポン
水質検査器・理化学機器

ガス検知器・送排風機
配水管清掃機器・薬剤
各種産業用ベルト・ホース
浄化槽用消毒薬・維持管理剤

電動工具・制御機器・記録紙
浄化槽関連部品・FRP補修剤
マンホール・その他

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348
FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718
E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp
http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
TEL:087-813-7621 FAX:087-813-7011

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目5番21号-7
TEL:092-558-4828 FAX:092-558-4827

住民目線で信頼される維持管理体制構築へ

通常総会後懇親会に与野党から来賓多数

5月28日に開かれた全国環境整備第43回通常総会後の懇親会には、上野賢一郎国土交通大臣政務官や佐藤英道農林水産大臣政務官、公明党の斉藤鉄夫幹事長代行、民主党環境整備・生活排水適正処理推進議員連盟会長の馬淵澄夫衆議院議員など多くの来賓が出席した。

懇親会の冒頭で玉川会長は「日本は今後、人口減少で大変な時代に突入することになる。生活排水処理分野では、料金収入の減少により公共下水道の事業経営が危ぶまれる事態になる。こうした時に我々は、浄化槽が下水道の代わりになり得るようしっかりと維持管理体制を作り上げて臨まなければならない。しかしその際に一番重要なことは、住民目線で信用できる業界になっているかどうかということ。今、全国環境整備では水再生システムという維持管理システムを構築している。今日ご参集の先生方からもご指導いただきながら引き続き体制作りを進めていきたい」と訴えた。

来賓挨拶では、出席した先生方や関係省幹部から祝辞をいただいた。このうち斎藤幹事長代行は「自民、民主、公明、維新など、主だった政党で浄化槽法改正を視野に入れた議員連盟を作る話が立ち上がっている。1日も早く実現するように頑張りたい。浄化槽の技術は日進月歩で進んでいる。その進歩を取り入れた新しいメンテナンスのあり方などを考えるのが我々の役目だと考えている。今後とも皆様と勉強していきたい」と祝辞を述べた。



前田武志参議院議員
(民主党環境整備・生活排水
適正処理推進議員連盟顧問)



斉藤鉄夫衆議院議員
(公明党幹事長代行)



佐藤英道
農林水産大臣政務官



うえの賢一郎
国土交通大臣政務官



武村展英衆議院議員
(自民)



藤井ひさゆき衆議院議員
(自民)



宮沢ひろゆき衆議院議員
(自民)



二ノ湯たけし参議院議員
(自民)

浄化槽用塩素剤について

◎保証金不要
◎役所 販売店募集 しています。是非お電話下さい。
◎民間
◎自社の維持管理の他に相当な需要があります。

◎経費削減は社員第一の義務です。 ◎役所の入札を取りたい方はお電話下さい。 ◎下水がどんどん入ってきます。早く気付いて下さい。

特徴

現在の製品は非常に良くなっています。

- 〈1〉今お使いになっているのと同じ有機系塩素剤です。
- 〈2〉従来品の2～3倍長持ちします。(当社比)
- 〈3〉即納体制で翌日配達します。
- 〈4〉メーカーの全面的バックアップにより安定供給できます。

品名 ゴールドSS-900塩素剤

有機系塩素剤トリクロロイソシアヌル酸99%

- | | |
|---|--|
| ① ゴールドSS900ST 50g錠 単独用 15kg
(50g×6錠×50本) | ④ ゴールドSS900 15g錠 単独用 15kg
(15g×20錠×50本) |
| ② ゴールドSS900 30g錠 合併用 15kg
(30g・5kg×3袋) | ⑤ ゴールドSS900M 100g錠 小型合併用 15kg
(100g×5錠×30本) |
| ③ ゴールドSS900 30g錠 単独用 15kg
(30g×10錠×50本) | ⑥ ゴールドSS900J 150g錠 合併用 15kg
(150g×5錠×20本) |
| | ⑦ ゴールドSS900 15g錠 合併用 15kg
(15g・1.5kg×10袋) |

得意取扱品 = 水処理機械・薬品、公害防止機器、化学工業薬品、プロフ、水中ポンプ、フロート、散気管、換気装置、合併取替装置、ルーツプロフ、水中プロフ、スクリーン、浄化機能促進剤、高圧洗浄機、排水清掃機器、DO、PH、小型MLSS計、採水器、水質検査器、風量計、消泡剤、殺虫プレート、透視度計

株式会社サンケン中部環境研究所

〒443-0104 愛知県蒲郡市形原町三浦17-9 TEL (0533) 57-2026/FAX (0533) 57-1585

日本環境整備事業 西日本
TEL (06) 6314-3712/FAX (06) 6363-0756

東京環境整備事業 東日本
TEL (03) 3370-6644/FAX (03) 3370-4646



今井雅人衆議院議員
(維新の党党政務調査会長)



むろい邦彦参議院議員
(維新の党幹事長代理)



小見山幸治参議院議員
(民主)



馬淵澄夫衆議院議員
(民主党環境整備・生活排水
適正処理推進議員連盟会長)



玉川会長と浄化槽の適正な発展を呼
びかける石田祝稔衆議院議員 (公明)



福山哲郎参議院議員
(民主党幹事長代理)



郡和子衆議院議員
(民主党筆頭幹事長)



鈴木たかこ衆議院議員
(民主)



小宮山泰子衆議院議員
(民主)

来賓の先生方や関係省幹部に挨拶する
玉川会長



浄中連の新会長に 玉川福和環整連会長が就任

27年度理事会・定期総会開く

浄化槽中央連絡協議会は7月3日、東京・新宿区のグランドヒル市ヶ谷で平成27年度理事会・定期総会を開いた。新会長に全国環境整備事業協同組合連合会会長の玉川福和氏を選任し、27年度事業計画には単独処理浄化槽の合併転換および浄化槽の普及促進に向けた行財政措置の要望活動、浄化槽に関する各種情報の意見交換、大規模災害に備えた各団体ごとの防災協定締結や避難場所への浄化槽設置など8項目を盛り込んだ。



水口テクノスなど6事業者を選定 環境省 小型家電リサイクル実証事業

環境省は6月5日、平成27年度小型電子機器等リサイクルシテム構築実証事業で、(株)水口テクノスなど6事業者の事業計画を採択したと発表した(表参照)。同事業は使用済み小型家電の回収事業に対し、回収ボックス等の物品や市民向け広報など必要な支援を行う。選定された6社はニッコー・ファインメック(株)(岩手県)、(株)リーテム(東京都)、三井物産(株)(東京都)、スズトクホールディングス(株)(東京都)、(株)水口テクノス(滋賀県)、大栄環境(株)(大阪府)。

採択された再資源化事業者	
事業者名	連携する市町村
ニッコー・ファインメック(株)	岩手県一関市、盛岡市都南地域、紫波町、矢巾町、宮城県白石市、富谷町
(株)リーテム	茨城県水戸市、栃木県足利市、佐野市、東京都狛江市、新潟県柏崎市
三井物産(株)	宮城県塩竈市、山形県天童市、福島県郡山市
スズトクホールディングス(株)	茨城県さしま環境管理組合(古河市、坂東市、五霞町、境町)、栃木県栃木市、鹿沼市、真岡市、益子町、茂木町、埼玉県桶川市、山梨県山梨市、中央市、静岡県三島市、伊東市
(株)水口テクノス	滋賀県近江八幡市、栗東市、野洲市、湖南市、高島市、蒲生郡日野町
大栄環境(株)	京都府相楽東部広域連合(笠置町、和束町、南山城村)、大阪府堺市、兵庫県北播磨清掃事務組合(西脇市、加東市滝野地域、多可町)、奈良県田原本町、上牧町

「維持管理に関しては清掃、保守点検、法定検査、いずれも問題がある。厳しい指摘をいただきながら一刻も早く悪いところは改め、世界に誇れる浄化槽システムを完成させたい。こういう思いで会長の任を引き受けた。必要なことは発信していくので、どうかご理解

のほどよろしくお願い申し上げます」と決意を表明した。来賓には環境省や関係団体幹部から多くの出席があり、このうち吉川圭子浄化槽企画官(写真左)は「今年の4月に浄化槽企画官に着任してから構造例示型や性能評価型など、実際に稼働している浄化槽を視察し

た。初めは臭気が強いかと身構えていたが、実際は多少虫がいた程度で私自身も全く抵抗なく、バキューム作業など体験させていただいた。しかし単独処理浄化槽はスカムがひどく、単独と合併でここまで違うのかと痛感した。浄化槽の期待は

今後ますます高まるので、環境省としても全力で努めてまいりたい。最近では海外展開についても多くのお問い合わせをいただいている。設置促進、環境行政に引き続き皆様のご支援とご理解をいただきたい」と祝辞を述べた。

高知県 高環協など4団体と協定締結 1週間の災害無償支援を実施

全国環整連

「廃棄物処理業の基礎」テーマに研修 東京、京都で関連法規の最新動向学ぶ

全国環整連の循環資源推進部会(小山浩部会長)は、適正処理推進部会(谷山紀行部会長)、青年部(宮原靖明青年部長)と合同で「廃棄物処理業の基礎」をテーマに8月6日に東京、8月27日に京都で研修会を実施する。

快速な生活環境づくりに貢献してきた。しかし近年は、循環型社会の形成が社会的な課題となり、各種リサイクル法の整備や3R推進の取り組みが進み、従来と異なってきた一般廃棄物の多量発生が再生可能資源として扱われ、廃棄物としての排出量は減少し、ごみと資源のグレーゾーンが拡大している。

また、各地での入札問題、合特法の趣旨と適正な合理化計画の策定、合理化協定の締結など残された課題も多い。このため同部会では、廃棄物処理業に関わるさまざまな知識や、業界を取り巻く環境の変化をしっかりと組合員が認識し、今後の各道府県での組合活動と業務に活かしていくことを目的に平成27年度の研修会事業に着手した。

【研修内容】
▽環境関連法規
▽廃棄物処理法と適正処理
▽廃棄物処理法とリサイクル法
▽廃棄物処理法と地方自治法(入札問題)
▽合理化特別措置法関連
▽中小企業等協同組合法関連

高知県は6月23日、高知県連合会は6月23日、高知県内4団体が今年3月に「災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定」を締結した(写真)。南海トラフ等の巨大地震や風水害等の大規模災害が起きた際に、避難所の仮設トイレや浸水区域での汲み取りなど、災害初期段階(1週間)のし尿、浄化槽汚泥の収集運搬について県が同連合会に無償支援を要請することができ

る。また県が被災した他の都道府県を応援するために協力要請を行った場合においても、連合会では可能な限りの協力を行う内容となっている。同連合会では県の要請に対し業者側

総会後の懇親会の冒頭、新会長に就任した玉川氏(写真右)は「海外へ行く」と特に関心があるが、日本の浄化槽は世界に類を見ない素晴らしい生活排水処理施設である。しかし維持管理に目を向けると、どうもきちんとした仕事がないのではないかという実態もある。全国環整連の歴史を振り返

てみると、戦後間もない頃から、当時は多くの人が尿処理の事に携わってきた。過去に不正行為が行われたこともあったが、組織はそういう者のためにあるのではない。悪いところがあれば反省し改め、自分たちの子どもや孫、次の世代に渡す。私も60を過ぎた。親から引き継いだ仕事をより良いものにするために残された時間を使いたい」と思いを述べた。

その上で出席者に「維持管理に関しては清掃、保守点検、法定検査、いずれも問題がある。厳しい指摘をいただきながら一刻も早く悪いところは改め、世界に誇れる浄化槽システムを完成させたい。こういう思いで会長の任を引き受けた。必要なことは発信していくので、どうかご理解

のほどよろしくお願い申し上げます」と決意を表明した。来賓には環境省や関係団体幹部から多くの出席があり、このうち吉川圭子浄化槽企画官(写真左)は「今年の4月に浄化槽企画官に着任してから構造例示型や性能評価型など、実際に稼働している浄化槽を視察し

た。初めは臭気が強いかと身構えていたが、実際は多少虫がいた程度で私自身も全く抵抗なく、バキューム作業など体験させていただいた。しかし単独処理浄化槽はスカムがひどく、単独と合併でここまで違うのかと痛感した。浄化槽の期待は今後ますます高まるので、環境省としても全力で努めてまいりたい。最近では海外展開についても多くのお問い合わせをいただいている。設置促進、環境行政に引き続き皆様のご支援とご理解をいただきたい」と祝辞を述べた。

高知県は6月23日、高知県連合会は6月23日、高知県内4団体が今年3月に「災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定」を締結した(写真)。南海トラフ等の巨大地震や風水害等の大規模災害が起きた際に、避難所の仮設トイレや浸水区域での汲み取りなど、災害初期段階(1週間)のし尿、浄化槽汚泥の収集運搬について県が同連合会に無償支援を要請することができ

る。また県が被災した他の都道府県を応援するために協力要請を行った場合においても、連合会では可能な限りの協力を行う内容となっている。同連合会では県の要請に対し業者側

MLSS / 界面計 SS-10Z ¥250,000	MLSS計 SS-10F ¥220,000	溶存酸素計 DO計 DO-10Z ¥125,000	pH / ORP計 KP-10Z ¥95,000	pH計 KP-10F ¥90,000	塩素イオン計 CL-10Z ¥170,000																	
沈殿槽の汚泥界面/MLSS測定	活性汚泥濃度測定	NEW DOセンサー OXNIT®: OX-V2	pH / ORP / 水温計	pH / 水温計	測定レンジ自動切替機能付																	
<table><tr><th></th><th>SS-10Z</th><th>SS-10F</th></tr><tr><td>測定範囲</td><td>MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深: 0.00~5.00m</td><td>無し</td></tr></table>			SS-10Z	SS-10F	測定範囲	MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深: 0.00~5.00m	無し	<table><tr><th>測定範囲</th><td>DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0℃</td></tr></table>		測定範囲	DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0℃	<table><tr><th>型式</th><td>KP-10Z</td><td>KP-10F</td></tr><tr><th>測定範囲</th><td>0.00~14.00pH 0~±1900mVpH電極起電力 0~±1900mV(ORP)</td><td>無し 無し</td></tr><tr><th></th><td colspan="2">0.0~50.0℃</td></tr></table>		型式	KP-10Z	KP-10F	測定範囲	0.00~14.00pH 0~±1900mVpH電極起電力 0~±1900mV(ORP)	無し 無し		0.0~50.0℃	
	SS-10Z	SS-10F																				
測定範囲	MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深: 0.00~5.00m	無し																				
測定範囲	DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0℃																					
型式	KP-10Z	KP-10F																				
測定範囲	0.00~14.00pH 0~±1900mVpH電極起電力 0~±1900mV(ORP)	無し 無し																				
	0.0~50.0℃																					
各種DPD 残留塩素 測定試薬取扱		DPD-GL-10: 1滴で測定100回分で5mL DPD-F-1(粉末遊離残留塩素測定試薬) DPD-TL-1(粉末全残留塩素測定試薬)		計量法 型式承認 計器本体 第SS142号 電極 第S142号																		
各種DPD 残留塩素 測定試薬取扱		計量法 型式承認 計器本体 第SS142号 電極 第S142号		鉛フリー対応でIP67相当の防水構造 測定方式 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 0.1 ~ 2000mg/L																		
KPK 笠原理化学工業株式会社 本社: 埼玉県久喜市吉羽1-10-10 TEL 0480-23-1781 FAX 0480-23-2749 URL http://www.krjpn.co.jp																						

参議院

浄化槽保守点検は通常年3回に

性能評価試験の細則に記載

6月16日の参議院環境委員会で民主党の小見山幸治参議院議員は、浄化槽の保守点検回数の見直しについて環境省の「今後の浄化槽の在り方に関する懇談会」で早期の結論を求めつつ、浄化槽の性能評価試験の細則を根拠にしながら「通常の使用状態であれば年3回に改めるべき」とする旨の質問を行った。

浄化槽を社会インフラに

小見山議員の質問は約3年間続いているが、今回は初めてこれほどまでに保守点検回数の問題を取り上げる理由について「下水道法の接続義務の為、浄化槽は一時的な処理施設になっている。下水道が通っていない中山間地域や人口散在地域に下水管を延ばしても接続できる家は一軒、二軒。さらに下水道に一般会計から多額の繰り入れを行っており、地方財政がひっ迫している状況にある。下水道なく経済性に優れ、今後の社会情勢の変化にも柔軟に対応できる浄化槽を推進したいというのが私の考え。しかし浄化槽の維持管理システムに曖昧な部分を残しているのは下水道に代わる生活排水処理システムとして強く言うことができない。私はまずこの部分をきちんとしたいというところで何度も質問している」と説明した。

その上で質問に入り、まず11月18日の参議院環境

性能評価試験では年3回

日本建築センターが実施する性能評価は「性能評価方法細則」において「保守点検回数及び清掃回数は浄化槽法第10条第1項に規定された最少回数」と定められており、小見山議員は国土交通省からの答弁を得て、試験環境下においては家庭用浄化槽であれば「年3回」の保守点検で正常に機能を発揮できるということを確認。さらに平成22年度国勢調査から、日本の9割以上の世帯が4人以下となっている状況を示しながら「通常の使用状態であれば保守点検回数は3回で十分。また浄化槽の処理人数より実際の世帯人数が少ない中で、なぜ年12回といった保守点検が必要なのか」と改めて質問した。

環境省懇談会で早期結論を

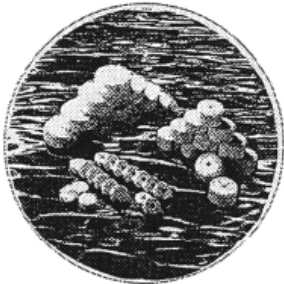
最後に小見山議員は望月義夫環境大臣に見解を求め、望月大臣は「浄化槽は経済性、処理性能、早期整備に優れ、地震等にも強い重要な施設と考えられている。保守点検回数については、様々な状況を網羅的に規定することは容易でなく、また環境規制法としては最低限度必要な回数を規定すること

の開催状況について聞いた。兼形部長は「当初は年度末に結論を出す予定であったが、4月17日に開催した第6回懇談会で、座長から次回は保守点検の回数をめぐる議論について、事務局と相談した上で方向性を提案できないか検討したいと発言があった。事務局としても関係者の理解を得て、方向性をまとめるよう努めたい」と回答した。

スを踏まえて3回以上とされている」と回答した。これに対し小見山議員は「以前も著しく流入量が多い場合を具体的に答えていただきたいと質問したが、明確な回答は得られていない。年12回実施する理由として挙げられるプロワの故障であれば停止警報器の設置で早く発見でき対応できる。消毒剤は昔は4カ月に1回の補充では持たない実態もあったが今は違う。年3回で性能が出る浄化槽に対し初めから年12回点検ありきでは説明がつかない」と厳しく指摘した。しかし環境省は「プロワへの対応を人力で行うか機械的に行うかは各地域の積み重ねがあると考えている。設置義務化については懇談会で議論を深めたい。点検回数も実際に稼働している実態に合わせて考えられるべきもの。保守点検業者が、その必要性を説明すべき」と点検回数についてはこれまでと同様の回答を繰り返すに留まった。

浄化槽用殺菌・消毒剤(医薬品)
ポンシロール®

- ① 吸湿・膨張(棚吊)せず不溶解分がほとんどありません。
- ② 簡便で経済的な維持管理が出来ます。
- ③ 長期間の保存にも耐え、品質低下もほとんどありません。



水は生命のみならず、快適な生活環境を守るために、私達が使った水はきれいに自然界に帰しましょう。
四国化成の(ポンシロール)は安定した消毒・殺菌効果がえられ経済的な維持管理が出来ます。

速効持続型消臭剤
溪流ゴールド

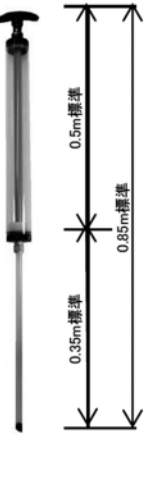
- ① 浄化槽が臭う時に。
- ② 清掃・くみ取り後の種付け。
- ③ 水溶性フィルムだから簡単投入。
- ④ 消臭成分が素早く脱臭
- ⑤ 微生物の働きで浄化を促進
- ⑥ 浄化槽はいつもすっきり健康



小型合併槽・家庭浄化槽用に好評です！

四国化成工業株式会社

幕張支社 Tel. 043-296-1665 福岡営業所 Tel. 092-431-4111
大阪支社 Tel. 06-6380-4112 名古屋営業所 Tel. 052-705-0116

2ch DO/pH計	マルチレンジ残留塩素計	比色試験器	ピストン式採水器
DOP-10Z	RC-V2	アクアテスター、DPD試薬	ミズテッポ1号/2号
1台でDO、pH、ORP、水温測定	低濃度残留塩素から高濃度次亜塩素酸ナトリウムまで測定	1Z / 2Z シリーズ (9段階測定) 7Z シリーズ (10段階測定)	1回で500m採水OK! 深い所 狭い所 浅い場所の採水OK!
 採水測定pH電極 投込み測定pH電極 同時測定は避けてください。同一試料水にDOプローブ及びpH電極を同時に浸水させる同時測定は避けて各単独測定をしてください。	 測定対象 塩素殺菌水、電解次亜生成水、水道水、浴槽水、溜池プール 測定範囲 DPDモード 0.00 ~ 3.00mg/l RC-Lモード 0.0 ~ 20.0mg/l RC-Hモード 0 ~ 300mg/l RC-Tモード 0 ~ 3000g/l RC-Uモード 0.0 ~ 200.0g/l	 DPD残留塩素測定試薬 比色法、ニーズに対応、粉末分包試薬、液体試薬をラインアップ 粉末分包試薬 DPD-GL-10 DPD-WA-50 DPD-F-1 DPD-TL-1 DPD液体試薬 遊離残留塩素試薬 全残留塩素試薬	 0.5m標準 0.85m標準 0.35m標準 テーパ付採水ノズル
濁度、PH/ORP計、DO計、塩素イオン計 レーザー濁度計、導電率計、電磁濃度計 COD計、各種試薬・標準液、ETC	KRK 笠原理化工業株式会社		本社: 埼玉県久喜市吉羽1-10-10 ☎0480-23-1781 FAX 0480-23-2749 URL http://www.krkjpn.co.jp

事業別の経営状況

(単位：百万円、%)

事業 項目		公 共	流 域	農業集落	特定地域	個別排水	
		下 水 道	下 水 道	排水施設	生活排水 処理施設	処理施設	
収 益 的 収 支	総 収 益 (a)	907,519	201,894	116,513	9,539	1,754	
	営 業 収 益	606,486	161,659	35,480	5,115	711	
	営業収益(受託工事収益を除く) (b)	605,770	161,388	35,426	5,107	711	
	うち 料 金 収 入	489,807	-	35,040	5,100	705	
	雨水処理負担金	113,573	154	116	-	-	
	他 会 計 繰 入 金	281,020	35,884	77,830	4,146	1,018	
	総 費 用 (c)	567,883	187,586	79,806	8,282	1,414	
支	営 業 費 用	338,081	157,794	49,364	7,404	1,118	
	うち 職 員 給 与 費	36,423	6,785	4,846	696	53	
	収 支 差 引	339,636	14,308	36,707	1,257	340	
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入	770,210	215,184	80,410	9,757	1,118	
	資 地 方 債	377,277	54,302	27,928	4,197	532	
	本 国 庫 (県) 補 助 金	162,290	72,389	15,739	2,563	-	
	的 他 会 計 繰 入 金	195,580	51,547	32,589	1,843	509	
	収 資 本 的 支 出	1,105,957	218,903	117,042	10,734	1,443	
	建 設 改 良 費	474,988	129,147	33,372	8,677	721	
	地 方 債 償 還 金 (d)	627,681	88,198	82,854	1,992	697	
収 支 差 引	△335,747	△3,719	△36,632	△977	△325		
実 質 収 支	黒 字	33,996	30,001	4,306	587	50	
	赤 字 (e)	14,571	-	118	4	-	
収 益 的 収 支 比 率		(a) ×100 (c)+(d)	75.9	73.2	71.6	92.8	83.1

低コスト整備手法など検討求める
総務省 25年度公営企業決算概況を公表

総務省はこのほど、平成25年度地方公営企業決算の概況を公表した。下水道事業については従来どおり地理的・社会的条件に応じた最適な処理手法を選択すること、を求めているが、今年度から新たに中長期的な「経営戦略」の策定や公営企業会計の導入等のほか、より低コストな整備手法の検討を行うことを要請した(表参照)。

報告書では併せて処理手

法別の事業経営状況を示しているが、それによると公営企業の採算性を示す収益的収支比率は浄化槽が92・8%と最も高い値となっており、実質的に浄化槽の導入について検討する必要があると考えられる。

事業経営状況を見ると、25年度末時点での全国の地方公共団体が経営する下水道事業数は3640事業で、法適用企業が538事業、法非適用企業が3102事業だった。

処理施設別に見ると最も多いのは公共下水道で1188事業(適用238事業・非適用950事業)、次いで農業集落排水が917事業(同87・830事業)、特定環境保全公共下水道が753事業(同132・621事業)、特定

地域生活排水処理施設(市町村設置型浄化槽、以下「特排」という)が276事業(同23・253事業)など

と続く。

このうち特に経営の透明化・健全化が求められている法非適用事業の経営状況に着目すると、実質収支の累計は公共下水道が黒字339億9600万円、赤字が145億7100万円、農集排は黒字が43億600万円、赤字が1億1800万円、特排は黒字が5億8700万円、赤字が400万円だった。

また総費用と地方債償還金の合算に対する総収益の割合を示す「収益的収支比率」は、公共下水道が75・9%、農集排が71・6%、特排が92・8%だった。

100%以上であれば企業として採算が取れていることを意味するが、この中では浄化槽の採算性が最も高い結果となった。

報告書の冒頭でも、今後は日本全体で少子高齢化が進み、人口が減少することが予想されている。その場合、個別処理方式であれば徐々に規模を縮小することもできるが、集合処理方式は施設の処理能力を柔軟に変更することができないため、料金収入を含む総収益が急速に悪化し採算性を落とすことが予想される。これは一般会計からの繰入金増加という結果につながり、財政の硬直化、最悪の場合は財政破綻を起こしかねない。総務省でもこのことを懸念し、経営戦略の策定をはじめとした各種検討を進めている。

今までは・・・

水質悪化
におい発生

・散気管のつまり等、高圧異常が発生しブロワが故障。

・においで異常に気付く。
・管理会社様へ連絡。

現場へ

ブロワ故障の為、修理or交換が必要
施主様と交渉

・消臭剤、シーディング剤の投入。
・圧力異常の原因を解消

・突然の出費で不満。

施主様

警告器付きブロワで、市町村設置型へのコスト削減提案

飲食店やコンビニ等、異臭クレームにつながりやすい場所への設置は特にオススメです

故障前の異常発見で更なる長寿命

異常を光とブザーで知らせます

浄化槽とブロワの異常を早期発見!

警告器付ブロワ 型式 LAA-80

トラッキング防止付電源プラグ採用

右ばっ気用と左ばっ気用が選べます。

切換バルブユニット 型式 MVU-200

LAA-80との組み合わせで、2口タイプの警告器付ブロワに!

LAA-80を使用した場合

・警告が発動。
・高圧・低圧等の圧力異常を音と光でお知らせ。

管理会社様連絡先シール

・管理会社様へ連絡。
・電源コードを外してお待ちいただく。

現場へ

急がなくても大丈夫。
エアー停止後、3日目以降に急激に水質悪化・悪臭が気になるとのデータがあります。

・圧力異常の原因を解消。
・この時ブロワが故障していないので、修理代・交換費用がかかりません。

・悪臭、ブロワの修理or交換もなく問題が解決されて大満足。
・管理士様への信頼度UP。

施主様

メドー産業株式会社

本社 〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-9-4 TEL 03(5748)5521(代表) FAX 03(3754)0258

大阪支店 〒537-0001 大阪市東成区深江北 2-10-10 TEL 06(6976)3271(代表) FAX 06(6976)3841

この水、なんだか、気持ちイイ。

ハイトライトグリーン

生活や産業で使った水を、きれいな水に再生して自然にかえす。

日産化学のハイトライトグリーンは、優れた溶解性でより高い汚水処理効果を発揮する、合併・単独浄化槽のための殺菌・消毒剤です。

あらゆるニーズにお応えできるよう、形状・サイズも豊富にラインアップ。

錠剤に合わせて各種薬筒も取り揃えています。

お問い合わせ詳しい資料のご請求は・・・

★日産化学工業株式会社

化学品事業部 ファインケミカル営業部

本社：東京都千代田区神田錦町3-7-1(興和一橋ビル) TEL.03(3296)8040

大 阪：TEL.06(6346)7130 福 岡：TEL.092(432)3422